



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2023年11月2日

上場会社名 株式会社エディオン 上場取引所 東  
 コード番号 2730 URL https://www.edion.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長執行役員 (氏名) 久保 允誉  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員財務経理統括部長 (氏名) 浅野間 康弘 TEL 06-6202-6048  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 2023年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	352,577	0.4	10,779	4.3	11,052	8.7	7,216	2.1
2023年3月期第2四半期	351,115	0.7	10,333	3.2	10,169	△9.2	7,070	△7.0

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 7,727百万円 (7.9%) 2023年3月期第2四半期 7,163百万円 (△7.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	73.30	65.11
2023年3月期第2四半期	69.11	61.78

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	369,621	207,703	56.1	2,104.62
2023年3月期	369,365	201,656	54.6	2,048.30

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 207,316百万円 2023年3月期 201,656百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
2024年3月期	—	22.00			
2024年3月期 (予想)			—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	745,000	3.4	19,500	1.6	19,500	1.3	11,500	0.9	116.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有新規 1社（社名）株式会社サンフレッチェ広島、除外 1社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	112,005,636株	2023年3月期	112,005,636株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	13,499,875株	2023年3月期	13,554,763株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	98,459,479株	2023年3月期2Q	102,312,550株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、長引くロシア・ウクライナ情勢や、原材料・エネルギー価格の高止まりによる物価上昇、また再び円安基調が強まる中で、依然として先行き不透明な状況が続いております。

しかしながら、2023年5月から新型コロナウイルス感染症の「5類感染症」への移行に伴い、経済活動の正常化と消費の回復が緩やかに進んでおります。

このような状況のもと、当企業グループにおきましては、経営資源の適切な再配分と企業価値の向上を目指し、グループ再編を推し進めております。2022年10月に情報システムの運営及び開発を担う㈱エヌワーク（現㈱EDIONクロスベンチャーズ）が㈱Hampsteadを吸収合併したことに続き、2023年10月に物流・配送サービスを行う㈱ジェイトップが㈱e-ロジを吸収合併いたしました。これにより、高まるEC需要を背景に、全国レベルでの当社のサービス提供が出来るよう全国物流網の構築に取り組んでまいります。

また、当社は、㈱サンフレッチェ広島が第三者割当増資にて発行した普通株式626,387株のうち500,000株を引き受け、2023年9月に払い込みを完了いたしました。これにより、㈱サンフレッチェ広島は当社の連結子会社となりました。

今後も、これまで以上に地域企業やファンの皆様とともに、クラブの成長と発展を目指してまいります。

当第2四半期連結累計期間の商品別売上におきましては、テレビなどの映像家電やパソコンなどの情報家電は、新型コロナウイルス感染症の「5類感染症」への移行に伴い外向き消費が増加した影響を受け低調に推移いたしました。平均気温が気象庁の統計開始以降最も高い夏となるなどの記録的な猛暑によりエアコンなどの季節家電が大きく伸びました。また、理美容・健康器具やゲームソフト・玩具、携帯電話なども前年を上回る事が出来ました。

当第2四半期連結累計期間の店舗展開につきましては、家電直営店として以下のとおり4店舗を新設、5店舗を移転、2店舗を閉鎖いたしました。非家電直営店としては2店舗を閉鎖いたしました。また、フランチャイズ店舗は1店舗の純増加となりました。これにより当第2四半期連結会計期間末の店舗数はフランチャイズ店舗759店舗を含めて1,209店舗となりました。

#### エディオングループ直営店出退店状況

年月	店舗名	都道府県	区分
2023年4月	エディオン 人吉レックス店	熊本県	移転
	エディオン なるばーく鳴海店	愛知県	新設
	エディオン ビバシティ彦根店	滋賀県	移転
	エディオン ららぽーと甲子園店	兵庫県	移転
	エディオン イオン守山店	愛知県	新設
	TSUTAYA 東浦店（非家電）	愛知県	閉鎖
5月	エディオン 児島店	岡山県	移転
7月	エディオン ダイエー光明池店	大阪府	閉鎖
	TSUTAYA 岐阜オーキッドパーク店（非家電）	岐阜県	閉鎖
8月	100満ボルト 坂井春江店	福井県	新設
	エディオン 下呂店	岐阜県	閉鎖
9月	エディオン ホームズ南津守店	大阪府	新設
	エディオン 岐阜正木店	岐阜県	移転

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、3,525億77百万円（前年同四半期比100.4%）と増加いたしました。また、営業利益は107億79百万円（前年同四半期比104.3%）、経常利益は110億52百万円（前年同四半期比108.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は72億16百万円（前年同四半期比102.1%）とそれぞれ増加しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産に関する分析

総資産は、前連結会計年度末と比較し2億56百万円増加し、3,696億21百万円となりました。これは在庫の確保を目的に商品及び製品が62億60百万円増加した一方、売掛金が36億35百万円、主に未収入金の減少により流動資産の「その他」が68億24百万円それぞれ減少したこと等により流動資産が1億33百万円減少し、また、㈱サンフレッチェ広島の第三者割当増資の引受けに伴う「のれん」の計上等により無形固定資産が4億16百万円増加したこと等により固定資産が3億90百万円増加したためであります。

なお、のれんの金額は、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

負債は、前連結会計年度末と比較し57億90百万円減少し、1,619億18百万円となりました。これは買掛金の支払いにより支払手形及び買掛金が47億65百万円減少した一方、固定負債の長期借入金からの振り替え等により1年内返済予定の長期借入金が65億30百万円増加したこと等により流動負債が15億90百万円増加し、また、返済や流動負債の1年内返済予定の長期借入金への振り替えにより長期借入金が70億82百万円減少したこと等により固定負債が73億80百万円減少したためであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較し60億46百万円増加し、2,077億3百万円となりました。これは主に剰余金の配当により21億65百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により72億16百万円増加したためであります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末と比較し40億89百万円増加し、173億25百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、126億68百万円（前年同四半期に得られた資金は78億51百万円）となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益が107億98百万円、減価償却費が50億44百万円、売上債権の減少による資金の増加が41億19百万円、未収入金の減少による資金の増加が72億74百万円、棚卸資産の増加による資金の減少が61億93百万円、仕入債務の減少による資金の減少が50億70百万円、法人税等の支払額が41億48百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動におけるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、51億31百万円（前年同四半期に使用した資金は36億43百万円）となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出が43億19百万円、無形固定資産の取得による支出が13億47百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動におけるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、34億47百万円（前年同四半期に使用した資金は38億36百万円）となりました。

これは、長期借入金の返済による支出が10億38百万円、配当金の支払額が19億75百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2023年5月9日公表の業績予想から変更はありません。

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,235	17,325
受取手形	34	39
売掛金	37,961	34,326
商品及び製品	116,061	122,321
その他	18,549	11,725
貸倒引当金	△103	△131
流動資産合計	185,739	185,605
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	52,183	52,658
工具、器具及び備品(純額)	6,023	5,890
土地	57,090	57,372
リース資産(純額)	5,015	4,633
建設仮勘定	1,313	1,028
その他(純額)	499	518
有形固定資産合計	122,126	122,102
無形固定資産		
のれん	1,620	1,883
その他	8,125	8,279
無形固定資産合計	9,746	10,163
投資その他の資産		
投資有価証券	4,019	4,535
差入保証金	27,048	26,990
繰延税金資産	18,614	18,013
その他	2,354	2,465
貸倒引当金	△284	△254
投資その他の資産合計	51,753	51,750
固定資産合計	183,625	184,015
資産合計	369,365	369,621

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,764	37,999
短期借入金	60	281
1年内返済予定の長期借入金	10,679	17,210
リース債務	913	916
未払法人税等	4,526	4,175
未払消費税等	2,086	3,060
賞与引当金	5,553	5,611
契約負債	28,652	27,051
その他	12,603	13,125
流動負債合計	107,841	109,432
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	13,823	13,816
長期借入金	15,859	8,777
リース債務	4,682	4,277
繰延税金負債	427	272
再評価に係る繰延税金負債	1,584	1,584
退職給付に係る負債	7,283	7,156
資産除去債務	10,678	11,040
その他	5,526	5,560
固定負債合計	59,866	52,485
負債合計	167,708	161,918
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,940	11,940
資本剰余金	84,968	84,992
利益剰余金	125,077	130,128
自己株式	△14,992	△14,918
株主資本合計	206,993	212,142
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	138	573
土地再評価差額金	△4,849	△4,849
退職給付に係る調整累計額	△625	△549
その他の包括利益累計額合計	△5,336	△4,825
非支配株主持分	—	386
純資産合計	201,656	207,703
負債純資産合計	369,365	369,621

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	351,115	352,577
売上原価	244,360	246,032
売上総利益	106,754	106,544
販売費及び一般管理費	96,421	95,765
営業利益	10,333	10,779
営業外収益		
受取利息及び配当金	75	74
受取手数料	64	156
受取事務手数料	134	149
その他	435	472
営業外収益合計	709	852
営業外費用		
支払利息	124	102
寄付金	300	300
持分法による投資損失	195	99
支払手数料	220	62
その他	33	16
営業外費用合計	873	580
経常利益	10,169	11,052
特別利益		
固定資産売却益	337	19
投資有価証券売却益	31	2
段階取得に係る差益	—	112
その他	166	6
特別利益合計	535	141
特別損失		
固定資産売却損	87	—
固定資産除却損	80	161
減損損失	—	180
賃貸借契約解約損	58	8
その他	9	44
特別損失合計	235	395
税金等調整前四半期純利益	10,469	10,798
法人税、住民税及び事業税	3,068	3,362
法人税等調整額	330	219
法人税等合計	3,398	3,581
四半期純利益	7,070	7,216
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,070	7,216



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	7,070	7,216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42	434
退職給付に係る調整額	135	76
その他の包括利益合計	92	510
四半期包括利益	7,163	7,727
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,163	7,727
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,469	10,798
減価償却費	5,181	5,044
のれん償却額	253	119
減損損失	—	180
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10	△19
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△205	51
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△102	△174
受取利息及び受取配当金	△75	△74
支払利息	124	102
持分法による投資損益 (△は益)	195	99
段階取得に係る差損益 (△は益)	—	△112
固定資産除却損	80	161
売上債権の増減額 (△は増加)	5,117	4,119
未収入金の増減額 (△は増加)	3,331	7,274
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△14,189	△6,193
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,255	△5,070
契約負債の増減額 (△は減少)	△331	△2,192
その他	△662	2,850
小計	6,921	16,964
利息及び配当金の受取額	52	53
利息の支払額	△115	△98
助成金の受取額	28	12
寄付金の支払額	△300	△300
法人税等の還付額	2,070	183
法人税等の支払額	△805	△4,148
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,851	12,668
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,494	△4,319
有形固定資産の売却による収入	952	22
無形固定資産の取得による支出	△1,034	△1,347
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	759
差入保証金の差入による支出	△180	△355
その他	114	110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,643	△5,131
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△42	30
長期借入金の返済による支出	△1,367	△1,038
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△2,058	△1,975
その他	△367	△462
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,836	△3,447
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	372	4,089
現金及び現金同等物の期首残高	29,885	13,235
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,257	17,325

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

重要な設備投資

当社は、2023年10月25日開催の取締役会において、固定資産（信託受益権）を取得する事を決議し、2023年10月27日付で譲渡契約を締結いたしました。

1. 取得の理由

このたび、当社「エディオンなんば本店」の土地・建物（信託受益権）を取得することといたしました。  
「エディオンなんば本店」は2019年6月より日本有数の繁華街である難波で施設面積15,539㎡の規模で営業する旗艦店舗となります。当社が当該土地・建物の信託受益権を取得することで、コスト削減効果とともに、長期的かつ安定的な店舗運営を行うことが出来ると判断し取得することといたしました。

2. 取得資産の内容

- ①所在地 : 大阪市中央区難波三丁目2番18号（エディオンなんば本店）
- ②取得資産 : 土地 4,237.88㎡  
建物 鉄骨・鉄骨鉄筋コンクリート造地下1階付9階建 22,974.19㎡（延床面積）
- ③取得価額 : 540億円
- ④取得資金 : 自己資金及び金融機関からの借入金

3. 連結財務諸表に及ぼす影響

当該固定資産の取得による当期業績への影響につきましては軽微であります。